

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	がん生殖医療における妊孕性温存のための卵子および胚凍結の有用性		
1. 研究の目的と方法	本研究は、東京慈恵会医科大学附属病院において、がん治療によって妊娠が難しくなる可能性がある方の将来の妊娠の可能性を残すための治療（妊孕性温存療法）の実施状況を明らかにし、凍結された卵子および胚の使用率、ならびにそれに伴う妊娠・出産率を分析することで、妊孕性温存の有効性を評価することを目的とします。診療録より患者さんの4.(3)に記載されている情報を収集し、調査を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2018年4月から2023年12月の期間に附属病院のがん・生殖外来において、がん治療を受けた妊孕性温存療法希望患者さん（18歳以上の方）		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	該当なし	
	(3) 情報の種類	凍結卵子・胚の数、利用率、妊娠・出産率・既婚率・年齢・原疾患・原疾患の治療状況・卵巣の予備能を評価するAMH（抗ミュラー管ホルモン：Anti-Mullerian Hormone）・刺激方法・利用するまでの日数	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	奥村 侑子
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>情報の利用開始は 2025 年 1 月頃を予定しています。 本研究は本学のみで実施される研究のため、本学と他の機関との間で情報の授受は生じません。</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 研究責任者・窓口担当者：奥村 侑子（おくむら ゆきこ） 電話番号：03-3433-1111 内線 9235 対応時間：午前 9 時～午後 5 時／休診日を除く</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。